

災害 -風水害- 避難のタイミング

災
害

水害や土砂災害は、発生するリスクの高まりを気象情報などで把握することができ、避難するタイミングは5段階の「警戒レベル」で示されます。

浸水想定や土砂災害警戒区域を確認しましょう

浸水想定区域とは、河川の氾濫などにより浸水が予想される区域のことです。また、土砂災害警戒区域（35ページ参照）とは、土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

本ガイド58ページ以降の防災マップで、自分の住んでいる地域や、行動する範囲の浸水想定や土砂災害の危険性を確認しておきましょう。

警戒レベルで避難のタイミングをお知らせします

水害や土砂災害の危険性について、5段階の「警戒レベル」で危険度をお知らせします。

レベル3の高齢者等避難や、レベル4の避難指示などの避難情報は、気象庁などから発表される警戒レベル相当情報や、日没時間なども勘案して帯広市が発令します。

なお、危険を感じる場合は迷わず避難行動をとってください。



水平(立退き)避難と垂直避難

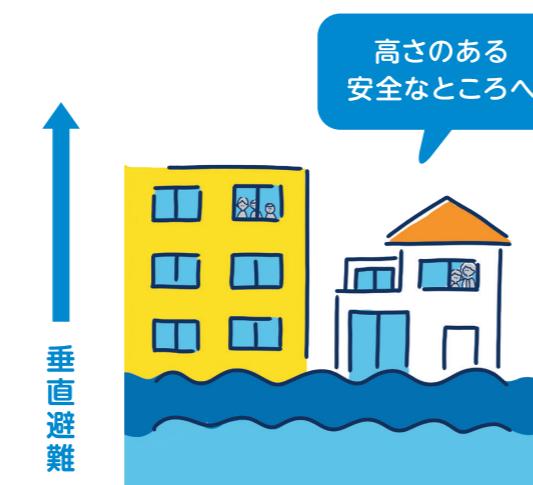
水平(立退き)避難

浸水のおそれがない地域に避難することです。水害が発生する前に避難を完了させることが最も大切です。



垂直避難

急激な降雨や浸水により、水平(立退き)避難が困難な場合は、浸水などによる倒壊のおそれがない自宅や近隣建物の上階に避難しましょう。



警戒レベルを把握し緊急事態に備えましょう

帯広市が発令する避難情報や防災機関が発表する情報をもとに、早めに適切な避難行動を！

●警戒レベルと避難行動



帯広市が発令を判断

帯広市が「警戒レベル相当情報」やその後の気象の見通し、河川の水位の状況などに加え、日没時刻などを総合的に勘案した上で「避難指示」や「高齢者等避難」の発令を判断します。

●防災関係機関が発表する情報

(市民が自ら行動する際の判断に参考となる防災気象情報)

警戒レベル	1相当	2相当	3相当	4相当	5相当
洪水に関する情報	水位情報がある場合		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報
	水位情報がない場合			洪水警報	大雨特別警報(浸水害)
土砂災害に関する情報				大雨警報(土砂災害)	土砂災害警戒情報
					大雨特別警報(土砂災害)

- 警戒レベル5「緊急安全確保」は、必ず発令されるものではありません。
- 避難情報が発令されていても、危険を感じた場合は迷わず避難してください。

警戒レベル

5

■ 避難情報
緊急
安全確保

災害発生又は切迫

命の危険直ちに安全確保！

災害が発生している可能性があり、避難所などへの移動は危険な状況です。その時点での場所よりも安全な場所(建物の2階や斜面の反対側など)で身の安全を確保してください。

!

警戒レベル4までに危険な場所から全員避難！

!